

経営改善部門（女性活躍）

新潟県糸魚川市

農業生産法人株式会社あぐ里能生^{のう}

（代表取締役：稲葉^{いなば} 淳^{じゆんいち} 一 氏）



- 経営規模：33.8ha（水稻33.4ha、よもぎ0.3ha、メロン0.1ha）
作業受託94.7ha（水稻育苗77.0ha相当を含む）

（注）数字は令和2年当時のもの

経営展開のポイント

- ・ 「地域の自然と農業を守り、人を育て、地域活性化のために貢献する」という経営理念のもと、平成19年に設立。平成31年には設立時から従業員であったIターン就農者への第三者継承を実施。
- ・ 農地中間管理事業を活用した農地の借入、農作業受託により経営面積は着実に拡大。水稻の品種ごとにほ場を団地化するとともに、100m程度あるほ場の高低差を活かし、田植時期を分散・長期化することで労働力の平準化や各種農業機械の効率的な活用を行い、生産性の向上に努めている。また、ほ場1筆ごとのデータをクラウド管理し生育状況に合わせた施肥管理や作業進捗状況を共有する等により、水稻は地域の平均以上の単収を実現している。
- ・ 水稻育苗ハウスを活用したメロン栽培や、休耕田での地域特産のよもぎの生産も行っている。平成26年には、自社生産米を原料とした「炭手焼きせんべい」の生産を開始し、水稻、園芸、せんべい加工の複合経営を行っている。
- ・ 米は生産量の約95%が個人客中心の直接販売で、900名以上の顧客に対応している。地元への配達に5割を占めるほか、近年はインターネット販売が3割程となっている。
- ・ 取締役を務める代表の妻は、異業種で働いていた経験を活かした労働環境の改善に積極的に取り組んでおり、変形労働時間制を取り入れた月給制の導入、就業規則や福利厚生等の見直しなど、働きやすい環境や体制の整備を提案し改善を行っている。
今後は退職金制度を導入するなど、さらに福利厚生を充実させ、男女ともに働きやすい会社を目指していく。